

JA 全農ちば 営農情報集

2025 年
11 月



今月の情報

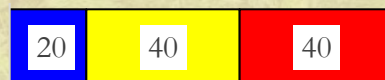
- I. 園芸野菜 病害虫防除情報
- II. 安全な農作物生産の取り組みについて

今月の気象（気象庁 11/6 発表 1 か月予報より）

平年と比較し、晴れの日が多くなる見込みです。

多湿条件は病害リスクが高まりますので、雨が降る際には病害に注意しましょう。引き続き、薬剤の予防散布を心掛けましょう。

【気温】



【降水量】



【日照時間】



■:低い ■:平年並み ■:高い

注意とお願い

※ 本資料の無断使用、複写、転載を禁じます。JA 全農ちば 営農士授業
農薬登録内容は掲載時点の情報です。農薬を使用する際に必ず最新の登録内容をご確認ください。

園芸野菜 病害虫防除情報

J A全農ちば 営農支援課

1. はじめに

気温が下がり、施設栽培では、保温のために夜間は閉め切る時期になりました。すでに最低気温が10℃を下回り始めている地域もありますので、温度管理には十分注意しましょう。
また、雨が多いと病害の発生リスクが高まります。引き続き、早めの防除を徹底しましょう。

2. トマト 灰色かび病

薬剤防除の前に耕種的防除を実施！

(1) 除湿

灰色かび病は20℃前後の気温と多湿を好みます。夜間、ハウスを閉め切る時間帯は湿度が高くなりがちです。除湿のための天窓換気、暖房機による早朝加温、送風等を実施しましょう。また、薬剤散布はなるべく午前中に行い、ハウスを閉め切るまでに薬液が乾くようにしましょう。

(2) 施設圃場の管理

灰色かび病は、咲き終わった花卉や枯れた葉等に寄生してから健全な部位へと移っていきます。果実に付着した花卉や枯れた葉が残っていると、灰色かび病の発生源となります。同様に、発病した葉や果実を通路に放置せず、必ずハウスの外へ持ち出して処分しましょう。



発生源となる咲き終わった花卉



茎に発生すると被害が大きくなる



残さを通路に放置しない

(3) 薬剤防除

● トマト 灰色かび病 防除薬剤

FRACコード	薬剤名	希釈倍数 ※1	使用時期	使用回数	備考
M7	ベルコートフロアブル	2000	収穫前日まで	3回以内	予防
7	アフェットフロアブル	2000		3回以内	予防
9	フルピカフロアブル	2000		4回以内	予防
12	セイビアーフロアブル 20	1000		3回以内	予防
1+10	ゲッター水和剤	1000		5回以内	予防・治療

※1 登録のうち最大濃度を示しています（1000～2000倍登録→1000倍）

3. キャベツ — 菌核病・べと病・黒斑病

(1) 菌核病

はじめ下葉の葉柄基部近くに水浸状の病斑が生じ、しおれます。病斑は茎をへて結球部に進展し、結球部の一部または全体が軟腐します。発病した結球葉をはがすと、内部に白色綿状のカビを生じ、のちにネズミの糞のような菌核を形成します。病原菌は菌核の形で、条件次第ではありますが、2～3年間土中に入り生存します。春先・秋口の降雨後、キノコ状の子のう盤を生じ、子のう胞子を形成して飛散・伝染します。低温・多湿時に発生しやすいため、近年この病害が発生した圃場では、気温が下がり始めるこの時期に必ず予防散布を行いましょう。

(2) べと病

はじめ下葉に黄色いぼんやりした病斑があらわれ、しだいに拡大して、葉脈で区切られた多角形になります。病斑の裏側には白色のカビが霜のように発生します。比較的気温が低く雨が長く続いた場合、感染が急拡大することがあるため、降雨後はすぐに防除を行いましょう。

(3) 黒斑病

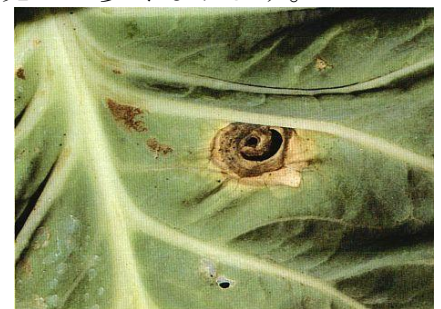
結球期から収穫期にかけて下葉に発生します。病斑は2～10mm程度のくっきりした黒褐色の円形斑点で明瞭な同心斑紋を生じます。肥料切れの時に発生が多くなります。



菌核病 下葉・株元のカビ



べと病



黒斑病

(4) 薬剤防除

●キャベツ 菌核病・べと病・黒斑病 防除薬剤

対象病害	FRAC	薬剤名	希釈倍数 ※1	使用時期	使用回数	備考
菌核病	1	トップジンM水和剤	1000	収穫3日前まで	2回以内	予防・治療△
	2	ロブラール水和剤	1000	収穫7日前まで	4回以内	予防・治療△
	7	パレード20フロアブル	2000	収穫前日まで	3回以内	予防・治療△
	11	ファンタジスタ顆粒水和剤	2000	収穫3日前まで	3回以内	予防・治療
	12	セイビアーフロアブル20	1000	収穫前日まで	3回以内	予防
べと病	21	ランマンフロアブル	2000	収穫3日前まで	4回以内	予防
	40+M5	プロポーズ顆粒水和剤	1000	収穫14日前まで	2回以内	予防・治療
	4+M3	リドミルゴールドMZ	1000	収穫30日前まで	3回以内	予防・治療
黒斑病	7	カンタスドライフロアブル	1500	収穫7日前まで	2回以内	予防・治療△
	7+11	シグナムWDG	1500	収穫7日前まで	2回以内	予防・治療
	11	アミスター20フロアブル	2000	収穫前日まで	4回以内	予防・治療

※1 登録のうち最大濃度を示しています（1000～2000倍登録→1000倍）

4. キュウリ — コナジラミ類・アザミウマ類

ウイルス病の蔓延に注意！

(1) コナジラミ類

県内で発生するコナジラミはタバココナジラミとオンシツコナジラミです。特に、タバココナジラミはウリ類の退緑黄化病の病原ウイルス（CCYV）を媒介します。



タバココナジラミ



オンシツコナジラミ

(2) アザミウマ類

県内で発生するアザミウマはミカンキイロアザミウマ、ミナミキイロアザミウマ、ヒラズハナアザミウマの3種です。特に、ミナミキイロアザミウマはメロン黄化えそ病の病原ウイルス（MYSV）を媒介します。



ミカンキイロアザミウマ



ミナミキイロアザミウマ

(3) 耕種的・物理的防除

薬剤防除を行う前に発生源となる周辺雑草の除草、施設への防虫ネット（0.4mm が好ましい）の設置が重要な対策になります。また、コナジラミ類は黄色、アザミウマ類は青色の粘着板によって発生予察を行いましょう。

(4) 薬剤防除

●キュウリ コナジラミ類・アザミウマ類 防除薬剤

対象害虫 ※1	IRAC コード	薬剤名	希釈倍数 ※2	使用時期	使用回数
コ	9B	コルト顆粒水和剤	4000	収穫前日 まで	3回以内
	4C	トランスフォームフロアブル	1000		2回以内
コ・ミナミ	4A	ベストガード水溶剤	1000		3回以内
コ・ア	6	アフーム乳剤	2000		2回以内
		アグリメック	500		2回以内
	28	ベネビア OD	2000		3回以内
	30	グレーシア乳剤	2000		2回以内
ア	UN	プレオフロアブル	1000		2回以内

※1 コ：コナジラミ類、ア：アザミウマ類、ミナミ：ミナミキイロアザミウマ

※2 登録のうち最大濃度を示しています（例：1000～2000倍登録→1000倍）

5. ネギ — さび病・べと病

予防的な薬剤散布を実施！

病害は多湿条件を好むため、降雨前には予防効果、降雨後は治療効果を持つ剤を使用しましょう。また、夜間にもや・霧が発生する日は病害多発の恐れが高まります。天候に留意しながら防除を行いましょう。

(1) さび病

オレンジ色の隆起した斑点が生じます。20℃前後での発生が多くなり、一度発生してからでは防除が困難な病害です。予防主体の防除を行い、病斑が見られたら直ちに治療剤の散布に切り替えましょう。



さび病の病斑

(2) べと病

葉身が黄色くぼやけ、表面にはやがて灰暗色のカビが発生します。さらに進展すると、被害部から葉が折れてしまいます。感染から発病までが非常に速い病害です。降雨前には予防剤を散布し、降雨後も多湿圃場では被害の急拡大に注意しましょう。



べと病の初期病斑

(3) 薬剤防除

●ネギ さび病・べと病 防除薬剤

対象病害	FRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
さび病	7	アフエットフロアブル	2000	収穫前日まで	2回以内	予防
	3	オンリーワンフロアブル	1000	収穫14日前まで	3回以内	予防・治療
さび病・べと病	M3	ペンコゼブフロアブル※	500～600	収穫14日前まで	3回以内	予防
	11	メジャーフロアブル	2000	収穫前日まで	3回以内	予防・治療
		アミスター20フロアブル	2000	収穫3日前まで	4回以内	予防・治療
	21	ランマンフロアブル	2000	収穫3日前まで	4回以内	予防
べと病	40+M5	プロポーズ顆粒水和剤	1000	収穫14日前まで	3回以内	予防・治療
	4+M3	リドミルゴールドMZ※	1000	収穫14日前まで	3回以内	予防・治療

※ペンコゼブフロアブルとリドミルゴールドMZは同成分（マンゼブ）を含むため、合わせて3回までなので総使用回数に注意

安全な農作物生産の取り組みについて

～農薬散布時の服装～

J A全農ちば 営農支援課

1. 農薬事故について

全国では毎年数十件、農薬の使用に伴う事故が発生しています。農林水産省の調べによると、平成 2 9～令和 3 年度の 5 年間ににおける農薬事故 98 件中 19 件（19.4%）が『**マスク、メガネ、服装等の装備が不十分**』に起因した事故でした。農薬のラベルにも、薬剤ごとに注意事項が記載されています。事故を防ぐためにも、記載内容に従って適切な保護具を着用しましょう。

2. マスクについて 薬剤・用途に応じ選択

農薬を散布する際、散布液の粒子が飛散し、皮膚、鼻、口等から体内に入り込む可能性があります。農薬の剤型などに従い、適切なマスクを選択し、着用しましょう。

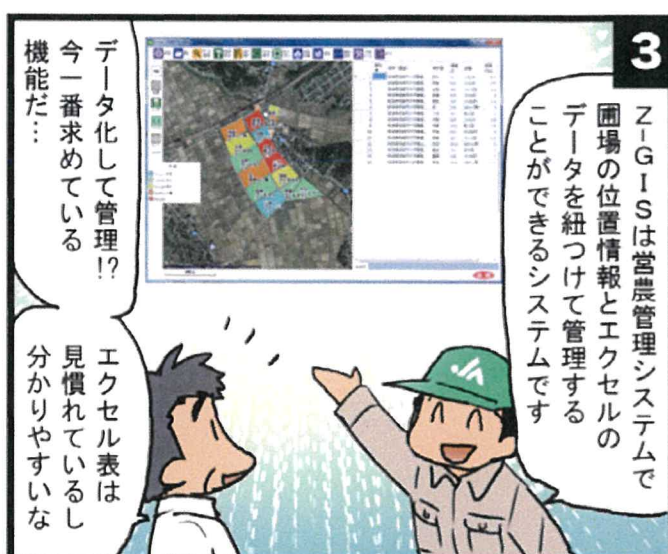
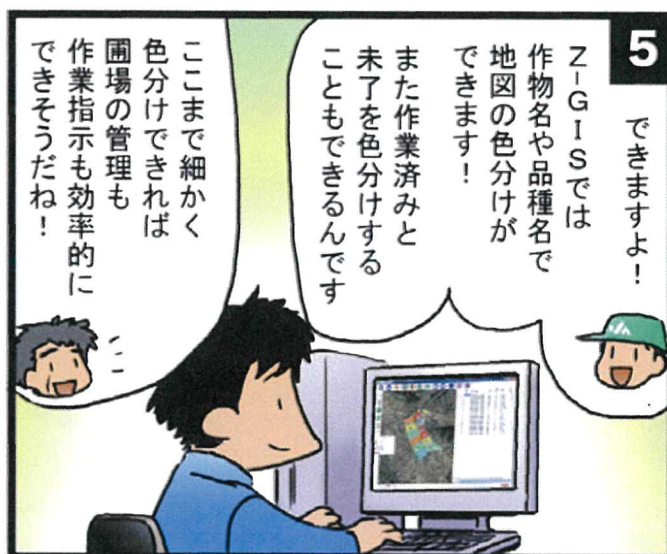
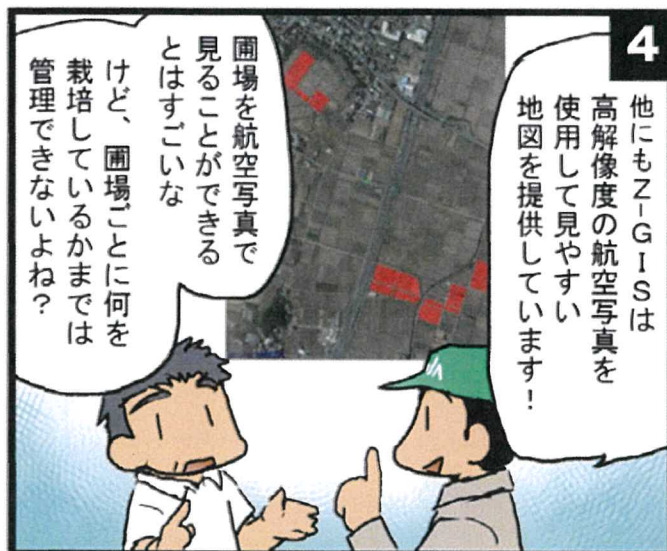
- （1）**農薬用マスク**・・・国家検定合格の使い捨て式防塵マスク。農薬の粉剤および液剤を散布するときに着用します。農薬用マスクは原則使い捨てです。
- （2）**防護マスク**・・・国家検定合格のフィルタ取替式防塵マスク。急性毒性の高い農薬（粉剤、液剤）を散布するときに着用します。
- （3）**吸収缶付防護マスク（土壌くん蒸剤用）**
 ・・・国家検定合格の有機ガス用の吸収缶のついた防護マスク。
 クロルピクリン、D-D などのガス化（気化）しやすい農薬の使用時に着用します。吸収缶にも種類がありますので、間違いのないようセットしましょう。

3. 服装について 肌を露出しない、目・鼻・口を守る

農薬使用時は、防除衣や防止、マスク、メガネ、手袋、長靴などの保護具を着用しましょう。



圃場管理ならお任せあれ！ スマートフォンに表示可能 営農管理の強い味方！Z-GISのご紹介★



●営農管理システム「Z-GIS」のお問い合わせは

一般社団法人 農協協会 Z-GIS管理部

JA全農 耕種総合対策部 スマート農業推進課

TEL.03-3639-1125

TEL.03-6271-8274



<https://z-gis.net/99/>

今ならお得なチャンス!

はじめようスマート農業キャンペーン

日々の作業を
効率化しませんか?

2025年12月1日 ▶ 2026年 **3月31日**

営農情報を地図で可視化!

Z-GIS

全農 営農管理システム

キャンペーン期間中、ご希望の方は

レイミーの **AI病害虫雑草診断**

スマートフォン用アプリ

との連携機能もご利用いただけます!

※Z-GIS既存会員の方も新たにレイミーオプションに加入する場合は、初回に限り4か月目まで無料で活用できます。

入会者 (新規のみ)

利用料

ご加入月
から

4か月目

末日

無料

例: 2月15日申込の場合、5月末までの利用料が無料

※キャンペーン中はレイミー連携機能もご利用いただけます

申込みやレイミー連携の
詳細はホームページから!



Z-GIS 初級者向け WEB講習会開催

1月から
開催予定!
メールで
ご案内

キャンペーン期間中の入会者向けZ-GISの初級WEB講習会を開催

1月20日、2月5日、2月17日 ※すべて16:00~1時間

Z-GIS 全農 営農管理システム でできること

1 管理項目別に色分けや抽出が可能!

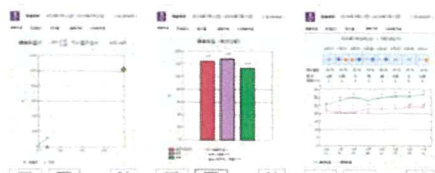


2

管理項目を
地図上に表示!



3 1kmメッシュ気象情報を確認可能!



4

スマホからも
簡単入力可能!



利用料金は、100圃場ごと月額220円(税込) **費用を抑えて圃場管理が始めます!**

【お問合せ】JA全農耕種総合対策部スマート農業推進課 TEL03-6271-8274 ✉ zz_zk_smart@zennoh.or.jp

JAグループ

全農